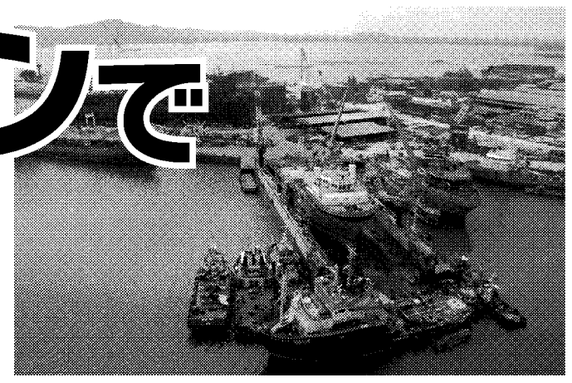
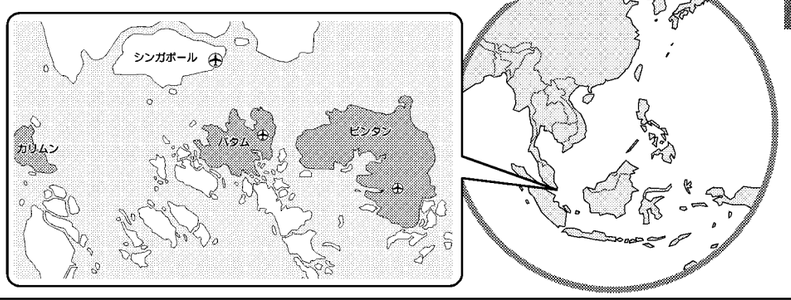
# BBK 自由貿易特区 インドネシア
# 戦略的ロケーションで注目される投資先



## 安定した経済成長続くインドネシア

約2億4000万人と世界4位の人口を抱え、その潜在的成長性に期待が集まるインドネシア共和国ー。石油やガスなどの天然資源が豊富なことに加え、中国やインドといった成長著しい新興国にもアクセスしやすい点から、現在多くの日系企業が進出をしている。

ここにきて、国内のモータリゼーションに拍車がかかるといった期待から、日系自動車メーカーがインドネシアを東南アジア諸国連合（ASEAN）の重要な生産拠点と位置付け動き出した。これに伴い、新工場の稼働などに対応するため、日系部品メーカーなどがインドネシアへの投資に一斉に乗り出すなど、中堅・中小企業からも熱い視線が注がれている。




## 日系自動車メーカーの投資加速

インドネシア中央統計局の発表によると、2010年の実質国内総生産（GDP）成長率は6・1％、1人当たりGDP（名目）は3004米ドルとなった。一般的に1人当たりGDPが3000米ドルに達した頃からモータリゼーションが始まるといわれる。

安定した経済成長に加え、世界4位の人口の約半数が29歳未満であることから、自動車産業などの内需狙いの企業にとって、同国の市場は今、大きな魅力となっている。

こうしたなかトヨタ自動車は13年に新工場を稼働。新たに生産する小型車は部材の現地調達率の引き上げを命題としており、系列部品各社に現地進出を促している。

これに加え、日本は自由貿易協定（FTA）を締結しており、ASEAN自由貿易協定（AFTA）の活用に加え、環太平洋連携協定（TPP）の交渉参加国として将来的なメリットが期待できる点も同国への投資を加速させている要因だ。

旺盛な需要を満たす生産体制

## ASEAN域内の貿易にメリット

同国の魅力はアジア屈指の巨大な国内市場に加えて、ASEAN域内外へのアクセスが良いことだ。AFTAにおけるメリットはもちろんのこと、ASEANは豪州、ニュージーランド、インドとFTA対象国を拡大している。中国とも枠組み協定を結んでおり、欧州とも締結に向けた作業が見込まれる。さらにTPPが具体化すれば、世界最大の市場である米国市場向けのアクセスが改善されるなど今後に期待がもてる。

こうした中、インドネシア政府は優先的に開発する産業分野として、天然資源産業や労働集約型産業など六つの分野を指定している。中でも重視しているのが、成長性の高い自動車産業だ。11年のインドネシア国内自動車生産は82万台、販売は83万台を見込む。さらに15年には生産台数を161万台、販売台数は122万台と大幅な拡大が予想される。政府やインドネシア経済界が口をそろえて強調するのが、自動車生産の拡大には自動車部品産業の集積が不可欠という点。インドネシア政府も日本の大企業のみならず中堅・中小の部品メーカーからの投資に期待している。

## リアウ諸島州の自由貿易特区

インドネシア領リアウ（ケプリ）諸島州（PROVINCE OF KEPRI＝RIAU ISLANDS）はシンガポールから20キロメートルの世界的に船便のもっとも頻繁なマラッカ海峡に近い地域に位置する。美しい大自然と海岸線、国際的なレベルを持つゴルフ場、エコツーリズムに相応しい大自然などに恵まれ、バリ島に次ぐ国際的な観光地としても知られる。

欧州や米国などを結ぶ四つの国際航路（TRANS―PACIFIC、INTRA―ASIA、EUROPE―Far East、South East Asia）がこの海峡を通過しており、貿易や産業、積み替え貿易、ロジスティックスなどの面においても優位性を保つ。

この諸島のなかでも「バタム島」「ビンタン島」「カリムン島」の3島は、その頭文字をとって「BBK」と呼ばれ、インドネシア政府から自由貿易特区の指定を受けた投資エリアとして有名だ。BBKに投資する外国投資家は、輸出税・輸入税の免除や付加価値税の免除、消費税の免除、100％株式保有など、税制におけるインセンティブを受けることができる。

また、シンガポールとの経済協力協定により、投資家はグローバルな生産とマーケティングを目指す戦略的なロケーションとして多くのメリットも享受できる。

しかしその一方で、リアウ諸島が日本ではそれほど知られていない現状がある。リアウ諸島州のバタムインドネシアフリーゾーン監督庁・日本事務所の木下一代表によると「タイの洪水以降、投資相談の件数は増えているが、韓国やシンガポールからの投資の勢いに比べると出遅れ感が否めない」という。

安価で良質な労働力に恵まれ、地理的にもインフラ面でも充実した環境は、「ASEANでのビジネス展開を考える日本にとって重要な生産拠点となる」と木下代表は話す。同日本事務所では、造船、観光、バイオ、環境などの分野での投資誘致を促進しているが、なかでもマラッカ海峡に近接する地域特性から「世界に誇る造船技術を持つ日本の造船業こそ、同州の投資環境の良さを目で確かめてほしい」と語る。

## ■ 知事メッセージ

### 恵まれたインフラで国際競争力優位に

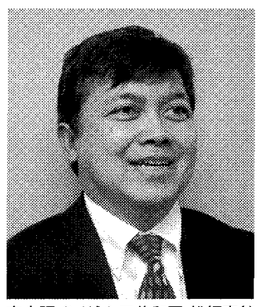
リアウ諸島州知事　ムハマッド サニー氏

バタム、ビンタン、カリムン3島を中核としたリアウ諸島州（KEPRI州）は2004年にインドネシアで32番目の新たな州として誕生しました。25万平方キロメートルの広さを持つこの州はバタム、タンジュン・ピナンの二つの都市とビンタン、カリムン、ナツナ、リンガ、アマンバスの五つの県から成り立っており、シンガポール、マレーシア、ブルネイ、ベトナム、タイ、カンボジアなどの諸国と海を隔てて国境を接しています。

KEPRI州はその98％が海域で全地域が海洋、鉱山、漁業、観光において大きなポテンシャルを持っています。これらの地域は国際航路が集中する戦略的なロケーションに位置しており、シンガポールと共に国際競争力のあるインフラの優位性に恵まれています。我々はKEPRI州が今後インドネシアの投資、貿易、観光における玄関口としての役割を果たすべく最善を尽くし一層のグローバル化に備えているところです。バタム島を先頭にビンタン島、カリムン島をはじめとしてさらに充実した広がりを見せているこの自由貿易地域にぜひともお越しいただくようお待ちしております。

## ■ 総領事メッセージ

### 両国発展に寄与する投資に期待


在大阪インドネシア共和国 総領事館
総領事　イブヌ ハディ氏

インドネシアは欧州と米国に広がる信用危機の影響を受けずに急速な成長を続けております。こうした状況を背景に、市場調査や現地企業との商談のためインドネシアを訪問する日本企業が、今年は特に多く見られます。今年6月から現在まで、総領事館が関わったミッションだけでも、11件ありました。

こうしたなか政府は、今年の5月に経済開発の加速化・拡充マスタープラン（MP3EI）を発表しました。これを加速するための首都圏投資促進特別地域（MPA）についても協力覚書を両国で調印しております。このMP3EIの一環で、外国からインドネシアへの投資を促進し続けるため、タックスホリデーを設けます。すなわち一定期間内、石油精製・石油ガスや機械製造などの産業において法人所得税の免除措置が認められます。

この好調なインドネシア経済が成長を継続できるよう、そしてインドネシア政府の政策が特に日本との経済協力の発展につながりますように期待しております。

## BBK

リアウ諸島の北部に位置するビンタン島＝BINTAN、バタム島＝BATAM、カリムン島＝KARIMUNの頭文字で、これら三つの島々を表す言葉。BBKはインドネシア政府が指定した自由貿易特区（略称はFTZ―FP　BBK）。国家戦略地区の指定を受け経済成長を推進するパイロットプロジェクト。

A330-200型機 エグゼクティブクラス

機内入国審査（成田・関西発便で実施中）

最近の受賞歴
SKYTRAX
— Four Star Airline
— Most Improved Airline 2010
Centere for Asia Pacific Aviation
— Airline Turnaround of the Year 2010

スケジュール　2011年10月30日(日)～2012年3月24日(土)

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| GA881 | 毎日 | 成　田 | 11：00 | デンパサール | 17：50 | | |
| GA885 | 毎日 | 成　田 | 12：00 | ジャカルタ | 18：00 | | |
| GA889 | 火･金･日 | 名古屋 | 11：15 | デンパサール | 17：20 | | |
| GA883 | 毎日 | 関　西 | 11：00 | デンパサール | 17：05 | | |
| GA880 | 毎日 | デンパサール | 00：50 | 成　田 | 08：50 | | |
| GA884 | 毎日 | ジャカルタ | 23：30 | 成　田 | 09：00 | *+1 | |
| GA888 | 火･金･日 | デンパサール | 01：10 | 名古屋 | 09：00 | | |
| GA882 | 毎日 | デンパサール | 01：00 | 関　西 | 08：30 | | |

1)表示時刻はすべて現地時間です。2)スケジュール及び機材につきましては、予告なしに変更になる場合があります。予めご了承下さい。3)*+1は翌日到着
※2012年4月28日より、羽田－デンパサール(バリ島)線就航予定（政府認可取得を条件とする）

ガルーダ・インドネシア航空会社　東京 03-3240-6161　名古屋 052-222-4771　大阪 06-6635-3222

www.garuda-indonesia.co.jp　Garuda Indonesia

インドネシアの新しい投資先をご紹介いたします。
最新情報の提供、
工業団地の紹介、
現地視察の手配から
投資相談、会社設立まで
…を支援します。
日本事務所：〒542-0081 大阪市中央区南船場4丁目12-22 心斎橋東栄ビル7階-705
バタムインドネシアフリーゾーン監督庁
TEL: (06)6253-6133 FAX: (06)6253-6134 E-mail : batamosaka@alpha.ocn.ne.jp
東ジャワ州政庁
TEL／FAX: (06)6253-6177 E-mail : h-kino@mth.biglobe.ne.jp

JAPAN Qualityを、バタムから。
「確かな技術」と「国際規格を満たす品質」で世界が認める
TOMOEのバタフライバルブ。
インドネシア・バタムの人たちとともに、
世界に送り出しています。

TOMOE　流体制御･コストパフォーマンスの両面で優れた性能を発揮。
上下水道や石油･化学、造船など、世界が求める
「バタフライバルブ」をご提案します。
TT2
巴バルブ株式会社 www.tomoevalve.com
お問い合わせは　巴バルブ株式会社 本社：〒550-0013 大阪市西区新町3-11-11 TEL（06）6110-2101
PT. Tomoe Valve Batam : Block F2 Latrade Industrial Park, Jl. Sei Binti Tanjung Uncang Batam 29422 Indonesia TEL 010-62-778-395466